

群会議の話題

No245号(2010年2月8日)東京土建新宿支部

無料法律相談会

顧問弁護士がご相談に応じます

2月19日(金)

3月19日(金)

時間は午後1時30分～4時

申込みは 組合まで(3362)2161

税金相談会の日程

いよいよ確定申告のシーズンとなりました。例年通り、税金相談を実施します。

10時～21時まで受付の日(20時スタートが最終)
2月14日(日)、15日(月)、16日(火)、17日(水)

10時～16時まで受付の日(15時スタートが最終)
2月18日(木)、25日(木)、26日(金)、28日(日)、3月11日(木)

完全予約制です。必ず予約をお取り下さい。担当:和田

3・12 重税反対統一行動【場所変更です】

毎年恒例の重税反対統一行動・集団申告デモ行動のお知らせです。今年は集合場所が変更になりました。ご注意ください。

申告する人も、しない人も

ぜひご参加下さい。

とき 3月12日(金) 12時15分～

場所 新宿区立花園西公園(新宿1-32) 昨年と違います

公園ウォッチング【仕事対策・8,000円】

区内220箇所の公園を組合員で点検して、破損箇所などを新宿区へ報告する取り組みです。同時に破損箇所の修繕を土建の仲間へ発注するよう、新宿区へ働きかけもします。全分会から4人ずつの参加をお願いします。

とき 2月21日(日) 10時 新宿支部4F 集合

10時～11時 説明会

11時散会して点検開始、点検終了後、支部へ報告
デジタルカメラを持参してください。

お花見の日にちだけ決定

毎年恒例、厚生文化部主催のお花見の日程だけとりあえず決まりましたので、お知らせいたします。詳細後日です。

とき 4月4日(日)

総合賠償責任保険がさらに使いやすくなりました！

どけん共済会が募集している総合賠償責任保険がさらに使いやすくなりました。今年度の定期募集分から、2回目以降の事故の免責10万円を廃止します。3月から更新・募集を開始します。

今月の大衆動員

8,000円

	日	時間	場所・備考
建設労働者春闘決起集会	2月12日	12時30分	国交省対面の外務省側に集合

今月の宣伝行動

2,000円

	日	時間	場所・備考
9条宣伝	2月19日(金)	16時30分	戸山ハイツ生協前
消費税反対宣伝	2月24日(水)	17時00分	戸山ハイツ生協前
社保協宣伝	2月25日(木)	16時00分	地蔵通り商店街

2010年

東京土建を大きくする運動に取り組みましょう。

昨年来から続く建築不況の中、建設労働者の生活と健康、営業が奪われています。それを打開する上でも、東京土建を大きくし、建設労働者の生活の向上をめざしましょう。そのために「仲間を迎える」拡大運動に取り組むことが大切です。

2010年度は、各分会13%の拡大を提起します。まず手始めに、この1～3月の春一番拡大(1/1付組織人員2.5%)の成功が要です。この期間は、4～5月の「春の拡大月間」にもつながる運動期間です。

春一番の統一行動日は、2月10日(水)・16日(火)・23日(火)、3月3日(水)・11日(木)・17日(水)・23日(火)、7日間を設定しますので、各分会では「仲間を迎える」運動の取り組みの行動を計画しましょう。何をするのか？ 東京土建パンフを配布しましょう。しかし「分会では配布しきれないよ」と言う分会は、新聞折込でも可能です。拡大は「仲間のつながり」が強いです。この間、「仲間のつながり」で東京土建に加入した組合員は中々、脱退しません。つながりはどこから生み出すか？ 要は新加入者です。新加入者には、未知数の仲間がいます。そこに依拠した紹介運動を展開すれば、必ずつながりは作れます。ぜひ、その点を強化します。

また今年の拡大は春・秋の拡大運動ではありません。日常を通じて「仲間を増やす運動」通じて取り組みます。「えっ～、それじゃ～、毎日が拡大じゃないか！」と言われるかと思いますが、仲間を増やす取り組みは、地道な取り組みです。ぜひ挑戦し、分会の発展も生まれていきます。

青年部がスキースノボツアーに行ってきた！

2月5日から7日にかけて福島県耶麻郡猪苗代にある猪苗代スキー場へ総勢12人で行ってきました。

6日の早朝に到着してその日は残念ながら天候は良くありませんでしたが1日みんなで楽しく滑ることができました！

その日の夜は疲れた体に少し(?)アルコールを注入して翌日に備えました(笑)

2日目は午前中のみでしたが昨日より少し天候は良く滑ることができました。

参加して下さった後継者対策部の斎藤實さん(神楽坂)は、「若いみなさんと滑って本当に楽しく10歳は若返りました(笑)」

秋の拡大で青年部に入ってくれ、初めて一泊のイベントに参加してくれた遠藤亜希子さん(余丁町)は、も「ともとスノボが好きで参加しましたがみんなと滑って本当に来てよかった！」

と感想を述べてくれました。青年部は、楽しいことをただやっているだけではなく、その中で青年部として組織での役割を果たすために、仲間をつくることを忘れずに来年度も色々なことにとりこんでいきたいと思います。